

長崎歴史文化博物館では、特集展示室や町屋の展示替えを定期的に行っております。
是非、ご取材・情報掲載の程、宜しく願い申し上げます。

特集展示

長崎奉行所旧蔵キリシタン関係遺物 「キリシタンと長崎奉行」

長崎奉行所が管理していたキリシタンを摘発するための「踏絵」や、イタリア人宣教師ジョヴァンニ・シドッティが持ち渡った物、浦上三番崩れ、浦上四番崩れのときの没収品などキリスト教に関わるものは、ここ長崎歴史文化博物館の敷地にかつて所在した長崎奉行所の宗門蔵で、明治の初め頃まで厳重に管理されていました。

その後、これらの資料は、1874年(明治7)に長崎県から教部省へ移管され、内務省社寺局、博物館を管轄する同博物局、その博物館を管轄することになった農商務省・宮内省と転々とし、1906年(明治39)、帝室博物館の第5回特別展「嘉永以前西洋輸入品及参考品」において初めて一般公開されました。戦後、東京国立博物館に移管され、1977年(昭和52)には国の重要文化財に指定されました。

当館では開館以来、東京国立博物館のご協力を得て長崎奉行所旧蔵のキリシタン関係遺物を特別に公開しています。今回の展示では重要文化財を含む7点の貴重な資料をご覧いただくことができます。



〈展示内容〉

- ・重要文化財 真鍮踏絵 聖母子像「ロザリオの聖母」
- ・重要文化財 マリア観音像
- ・重要文化財 キリスト像
- ・重要文化財 ロザリオ
- ・十字架
- ・十字架
- ・メダイ 聖ベネディクト

特集展示

長崎奉行所旧蔵キリシタン関係遺物 「キリシタンと長崎奉行」

会期：2017年1月17日(火)～3月31日(金)

会場：特集展示室(2階常設展示室 歴史文化展示ゾーン内)

時間：8:30～18:00(最終入館17:30)

観覧料：大人600円 小中高生300円 ※県内小中学生は無料

〈取材に関するお願い〉

今回の展示会は東京国立博物館の所蔵品をお借りしているため、展示資料一点一点の写真をご希望の場合、東京国立博物館の許可が必要です。以下へお問い合わせのうえ、必要な手続きをお済ませください。

画像貸出利用の申込・問合せ先

◎東京国立博物館資料館 画像利用受付カウンター

電話番号：03-3822-1212(平日の9時30分～17時00分) ファックス：03-3822-1358

◎(株)DNPアートコミュニケーションズ

〒141-8001 東京都品川区西五反田3-5-20

電話番号：03-6431-3702(平日の9時30分～17時30分) ファックス：03-6431-3705

※オンラインでのお申込も可能です。詳細については、下記のホームページをご覧ください。

<https://images.dnpartcom.jp/>

